

自治体等からの意見
(前回地方小委員会(4/12)以降)の報告

【目次】

番号	要望日	要望団体等	頁数
1	平成24年 5月10日	山梨県知事	2-3
2	平成24年 7月19日	山梨県高速道路整備促進期成同盟会 山梨県スマート・追加 I C 整備促進協議会 中部横断自動車道整備促進山梨県峡北地域連絡協議会 甲西道路・中部横断自動車道(増穂・双葉)建設促進連絡協議会 中部横断自動車道(富沢・増穂)建設促進連絡協議会	4-5
3	平成24年 8月 8日	中部横断自動車道 長野県・山梨県沿線市町村	6-8
4	平成24年 8月27日	中部横断自動車道整備促進静岡県中部地域協議会・中部横断自動車道経済懇談会・高規格道路整備促進静岡藤枝地域議員連盟	9-10
5	平成24年 9月24日	長野県知事	11-13

◆国の施策及び予算に関する提案・要望 山梨県知事

平成24年5月10日

平成25年度

国の施策及び予算に関する提案・要望

山 梨 県

山梨県政の推進につきましては、平素から格別の御指導、御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本県では、県民一人ひとりが、生活の豊かさや心の豊かさを実感できる「暮らしやすさ日本一」の実現に向け、市町村や民間、あるいは大学などの教育・研究機関とも連携・協働し、各種施策の進展に全力で取り組んでおります。

我が国経済は、大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で緩やかに持ち直しており、本県経済も、個人消費が上向き傾向にあります。

一方、生産面では、全体として海外経済の減速や生産の海外シフト等を背景に、横ばい傾向で推移しておりますが、先行きについては、円高に伴う取引先からのコストダウンの要請や受注減などに警戒感が強まっており、また、雇用面でも有効求人倍率が低水準で推移するなど、まだまだ予断を許さない状況にあります。

こうした中、本県の財政状況も厳しさを増しており、引き続き実効性のある施策・事業を確実に推進していくためには、本県独自の創意・工夫はもとより、地域の実情に即した制度の創設や財源措置など、国の御理解と御支援が不可欠であります。

本提案・要望書に取り上げました項目は、本県にとって重要度が高かつ迅速な対応が必要な施策・課題であります。

つきましては、国における平成25年度の予算編成や施策の決定に当たり、これら事項の実現に特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年5月10日

殿

山梨県知事 横内正明

高速自動車国道及び地域高規格道路等の整備促進について

【国土交通省】

【提案・要望の要旨】

高速自動車国道は、国土政策として国が責任をもって着実に整備を進めること
地域高規格道路は、計画的な整備が図れるよう特段の配慮を行うこと

【現状と課題】

- 高速自動車国道及び地域高規格道路等は、一極一軸型の国土構造を是正し、地域の個性ある発展を促すとともに、広域圏間の連携、交流を促進し、防災・減災にも大きな役割を担うことで、強くしなやかで国際競争力ある国土を形成するため、早急な整備が求められています。
- 中部横断自動車道は、東名高速道路、新東名高速道路、中央自動車道及び上信越自動車道を相互に連結し、全国的な高速交通ネットワークを構築する上で極めて重要な路線であり、国土政策として国が責任をもって着実に整備を進めていくことが必要です。
- 中央自動車道の上野原以東は、都心から放射状に伸びた高速道路ネットワークの中で唯一6車線化されておらず、小仏トンネル付近で発生する慢性的な渋滞が、首都圏全域に経済的、時間的損失を与えており、早期の整備計画策定が望まれています。
- 本県では、これらの高速自動車国道の効果を最大限に活用するための地域高規格道路として「新山梨環状道路」及び「西関東連絡道路」を計画し、整備を進めています。
- また、東海地域や南関東地域との連携・交流を促進するため、先般、一部供用開始された新東名高速道路への連絡強化が必要であり、東富士五湖道路の須走ICと新東名高速道路を結ぶ自動車専用道路の整備が求められています。
- 更に、国道139号都留バイパスでは、平成23年3月に部分供用されましたが、富士吉田方面において依然渋滞が発生しており、未整備区間の早期事業化が求められています。

【具体的提案・要望内容】

- 1 中部横断自動車道の整備促進
 - ・事業中区間（増穂IC～新清水JCT）の平成29年度までの完成
 - ・増穂IC以南への追加ICの設置
 - ・基本計画区間（北杜市～佐久穂町）の整備計画区間への早期格上げ
- 2 中央自動車道の整備
 - ・上野原IC～八王子JCTの拡幅整備計画の早期策定
 - ・スマートIC設置の促進
- 3 地域高規格道路等の整備促進
 - ・新山梨環状道路の北部区間の早期事業着手及び東部区間（県施工）の平成25年度新規事業着手
 - ・西関東連絡道路の整備推進
 - ・東富士五湖道路の須走IC～新東名高速道路間の国道138号のバイパスの整備促進
 - ・甲府富士北麓連絡道路の計画路線への早期格上げ
- 4 直轄国道の整備促進
 - ・国道139号都留バイパス、富士吉田方面への延伸事業の早期着手



◆中部横断自動車道の早期実現と中央自動車道の拡幅整備促進について

平成24年7月19日

山梨県高速道路整備促進期成同盟会

山梨県スマート・追加IC整備促進協議会

中部横断自動車道整備促進山梨県峡北地域連絡協議会

甲西道路・中部横断自動車道(増穂・双葉)建設促進

連絡協議会, 中部横断自動車道(富沢・増穂)建設促進連絡協議会

中部横断自動車道の早期実現と 中央自動車道の拡幅整備促進について

山梨県内の高速道路の整備促進につきましては、平素から格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

道路は、県民の社会経済活動を支える、欠かすことのできない社会資本であります。

なかでも、高速道路は、活動圏域の拡大、地域間の連携の強化、物流の効率化による経済活動の活発化など、地域の自立的な発展を支える根幹的な社会資本として、地域社会に大きく貢献するものであります。

同時に、災害時の物資輸送や、医療施設への救急搬送にも、大きな効果を発揮する「命の道」として県民の期待は大きいものがあります。

更には、昨年、高速道路のあり方検討有識者委員会の中間とりまとめで最優先課題として指摘された、ボトルネック箇所への集中的対策や、簡易インターチェンジの増設等は、山梨県にとっても喫緊の課題であり、高速道路整備の重要性を改めて示すものであります。

中部横断自動車道は太平洋と日本海を結び、新たな高速道路網を形成することにより、静岡・山梨・長野・新潟各県の交流・連携を活性化し、沿線地域の産業、経済、観光、文化等の振興・発展に寄与するものであり、県内においては、中部横断沿線地域活性化協議会を中心に、沿線地域の活性化を推進する活動が行われており、このような地域の努力が実を結ぶためにも、早期の全線開通が望まれております。

また、我が国の三大都市圏を結ぶ中央自動車道の上野原インターチェンジ以東で、依然として発生している慢性的な交通渋滞を解消し、国土の大動脈としての交通機能を十分に確保する必要があります。

つきましては、中部横断自動車道の全線開通と中央自動車道の機能強化を図るため、次の事項について特段の御配慮を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

要望事項

- (1) 中部横断自動車道の増穂以南については、平成29年度までの全線開通を図るとともに、観光・産業活動の広域化等に寄与する地域活性化インターチェンジを追加すること。
- (2) 中部横断自動車道の北杜市から佐久穂町間の基本計画区間について、早期に整備計画区間に格上げすること。
- (3) 中央自動車道の上野原インターチェンジから八王子ジャンクション間の、改築計画を策定すること。
- (4) 高速道路利用者の利便性の向上と地域の活性化、物流の効率化等に寄与するスマートインターチェンジの整備を促進すること。
- (5) 新東名高速道路の建設を見据え、県境付近における渋滞を解消するため、東富士五湖道路を延伸すること。
- (6) 高速自動車国道をはじめとする高規格幹線道路網及び、スマートインターチェンジ等の整備を促進するため、所要の建設予算を確保すること。

平成24年7月19日

山梨県高速道路整備促進期成同盟会

会長 山梨県知事 横内 正明

山梨県スマート・追加IC整備促進協議会

会長 山梨県知事 横内 正明

中部横断自動車道整備促進山梨県峡北地域連絡協議会

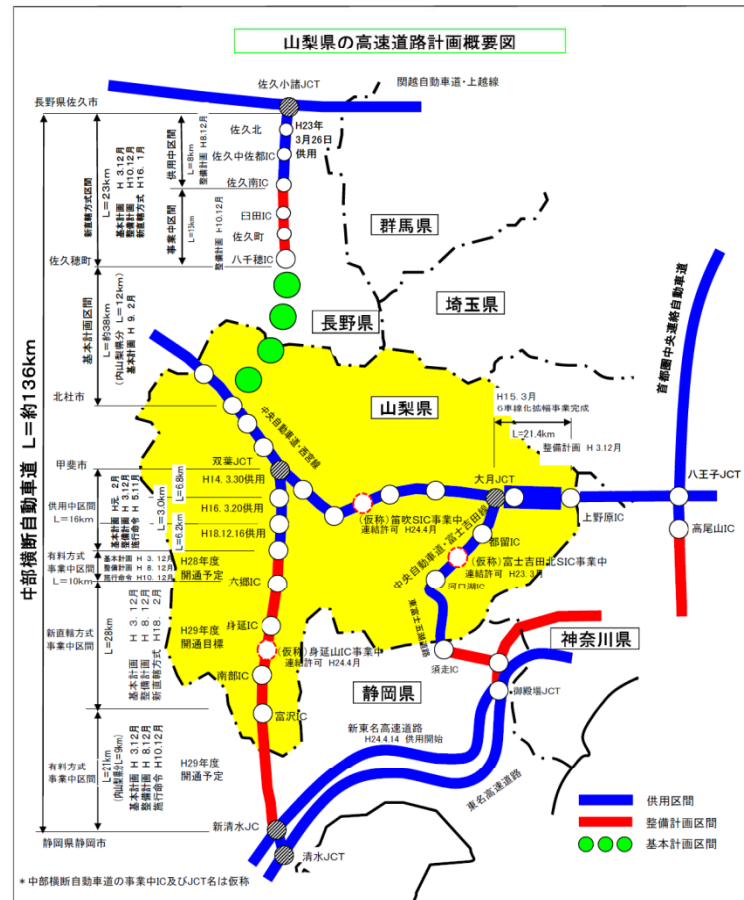
会長 北杜市長 白倉 政司

甲西道路・中部横断自動車道(増穂・双葉)建設促進連絡協議会

会長 富士川町長 志村 学

中部横断自動車道(富沢・増穂)建設促進連絡協議会

会長 身延町長 望月 仁司



H24.4

◆中部横断自動車道の早期実現に関する提案書 中部横断自動車道 長野県・山梨県沿線市町村 平成24年8月8日

平成24年8月8日

国土交通大臣
羽田 雄一郎 様

中部横断自動車道の 早期実現に関する提言書



上空より佐久南インターチェンジを望む

中部横断自動車道 長野県・山梨県沿線市町村

平素、中部横断自動車道の建設促進につきましては、特段のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年開通いたしました中部横断自動車道 佐久・小諸ジャンクションから佐久南インターチェンジ間は、中部横断自動車道全線開通に向けた大きな前進であり、長野県及び山梨県沿線地域の観光、産業など全ての面において可能性をより一層高めるものとなり、交通渋滞の緩和や地域間移動の時間短縮などの面において、その整備効果が望まれるところであります。

さて、東日本大震災では、鉄道や港湾施設が壊滅的な被害を受ける中で、高速道路が早期に回復したことにより、多大な効果を発揮し、緊急輸送の基軸となりました。

この震災を教訓として、改めて災害に強い国土づくり、特に日本海と太平洋を結ぶネッ

トワーク強化の必要性が認識されました。

中部横断自動車道は、東海地震等による重大な災害の発生が危惧される中で、広域的防災体制を強化するとともに、緊急輸送路としての役割を担うばかりでなく、救急医療など住民福祉の多様な機能も兼ね備える、沿線住民の生活に密接した「命の道」であります。

また、中部横断自動車道の全線整備は、静岡、山梨、長野、新潟の4県を結ぶとともに、東名、新東名、中央、関越、北陸の5つの高速道路と接続し「関東大環状連携軸」を形成する路線となり、物流体系の再編、交流圏の拡大、広域的観光ゾーンの形成などを促進し、交流人口の創出に大きく貢献する「真に必要な道路」であり、その整備効果は計り知れないものがあります。

しかしながら、中部横断自動車道には基本計画区間が残されており、高速道路の効果を

最大限に発揮するには、ミッシングリンクの解消が急務になると考えます。

そこで、中部横断自動車道の円滑な事業の推進に向け、環境・景観に配慮され、早期完成に向けて下記事項につきまして、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 基本計画区間である（仮称）八千穂インターチェンジ～山梨県（仮称）長坂ジャンクション間について、整備計画区間への格上げを早期に実現し、ネットワーク化が図られるよう、お力添えをお願い致します。
2. 佐久南インターチェンジ～八千穂インターチェンジ（仮称）間について、早期完成に向け、特段の予算措置が講じられるよう、お力添えをお願い致します。

中部横断自動車道長野県・山梨県沿線市町村

佐久市長	柳田清二
北杜市長	白倉政司
小諸市長	柳田剛彦
佐久穂町長	佐々木定男
川上村長	藤原忠彦
小海町長	新井寿一
北相木村長	井出玄明
南相木村長	菊池毅彦
南牧村長	菊池幸彦
軽井沢町長	藤巻進
御代田町長	茂木祐司
立科町長	小宮山和幸

◆中部横断自動車道の早期全線開通について 平成24年8月27日

中部横断自動車道整備促進静岡県中部地域協議会・中部横断自動車道経済懇談会・高規格道路整備促進静岡藤枝地域議員連盟

中部横断自動車道の早期全線開通について

中部横断自動車道の整備促進につきましては、平素から格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

中部横断自動車道に先立ち本年4月に開通した新東名高速道路により、恒常化していた東名高速道路の渋滞が解消され高速性や定時性が確保される外、交通事故が減少し安全性も向上しています。

また、災害時の緊急輸送路としての期待も大きいことに加え、新東名の商業施設の活用により周辺地区の活性化に繋がることから、多方面での高速道路の影響力の大きさを感じております。

静岡市では新東名高速道路が東西軸、中部横断自動車道が南北軸に位置しています。現在、南北軸の交通を担っているのは国道52号ですが、一部の区間で雨量規制が掛っており、昨今の異常気象の頻発から災害に強い道路として中部横断自動車道の早期開通が期待されています。

この中部横断自動車道の効果が発揮できるのは、道路ネットワークとして、新東名高速道路と中央自動車道や

上信越自動車道までの全線が開通する時と推測できることから、開通年次が公表されていない新直轄方式区間の整備を有料道路区間と同時開通するよう切に要望いたします。

また、本道は、関東大環状連携軸構想の一翼を担っており、本市のみならず日本の物流や経済活動、地域交流や観光産業に与える影響は大きく、各界からも早期完成を望む声が届いております。

以上のような、中部横断自動車道の重要性及び地域住民の切なる願いに添えていただきたく、一刻も早い全線開通を要望し、次の事項につきまして特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 関東大環状連携軸構想による高速ネットワークが一日も早く形成されるよう、基本計画区間である長坂JCT（仮称）～八千穂IC（仮称）の整備計画区間への早期格上げを行うこと
- 1 有料道路方式区間である新清水JCT～富沢IC（仮称）間及び六郷IC（仮称）～増穂IC間の完成時期の前倒しに向けた整備促進を支援すること
- 1 新直轄方式区間である富沢IC（仮称）～六郷IC（仮称）間について、前述の有料道路方式区間との同時期完成を図ること
- 1 新直轄方式区間である八千穂IC（仮称）～佐久南IC間の早期完成を図ること
- 1 高速交通自動車網を必要とする地方の声に十分配慮し、整備に必要とされる予算を確保すること

中部横断自動車道整備促進静岡県中部地域協議会

会 長 静岡市長 田 辺 信 宏
副会長 静岡商工会議所会頭 後 藤 康 雄

中部横断自動車道経済懇談会

会 長 静岡商工会議所会頭 後 藤 康 雄
副会長 佐久商工会議所会頭 櫻 山 高 士
副会長 甲府商工会議所会頭 上 原 勇 七
副会長 長野県商工会連合会 春 原 晃 夫
副会長 佐久支部広域協議会 会 長
副会長 山梨県商工会連合会 小 林 寛 樹
副会長 (社)山梨県法人会連合 会 長
副会長 会 長 芦 澤 敏 久

高規格道路整備促進静岡藤枝地域議員連盟

会 長 静岡市議会議長 石 上 顕 太 郎
副会長 藤枝市議会議長 渡 辺 恭 男

◆要望書 長野県知事 平成24年9月24日

国土交通大臣

羽田 雄一郎 様

要 望 書

平成 24 年 9 月 24 日

長 野 県

長野県政の推進につきまして、日頃より格別の御配慮を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本県におきましては、県民の「確かな暮らし」を守り、誰にでも「居場所と出番」がある信州、「豊かで持続可能」な信州を目指し、全力を上げて、施策に取り組んでいるところであります。

県内の社会基盤に関しては、観光を含む産業・経済の発展や大規模災害発生時に大きな役割を果たす高規格幹線道路の整備や、千曲川、天竜川といった県土の骨格をなす大河川の改修も道半ばであることに加え、昨年の東日本大震災や、長野県北部地震を契機とした県民の安全・安心に対する意識の高まりから、各種の基盤整備に対するニーズが高まっています。

また、高度成長期に集中的に建設を行った、橋梁等をはじめとする各種施設の老朽化が顕著化するなど、施設の維持管理、更新等もまた、地方が抱える新たな課題となっております。

更には、リニア中央新幹線の整備促進、北陸新幹線の金沢延伸に伴う長野以北並行在来線の安定的経営、信州まつもと空港の機能強化、鉄道・バス等生活路線の維持・確保に向けた取組などが極めて重要なものとなっております。

県民の安全・安心を確保し、豊かな生活を支えるため、道路、河川、砂防、公園、下水道等に関する整備・維持管理、また、交通基盤の整備と確保維持対策、観光振興対策等が確実に実施できるよう、必要な財源を確保することはもとより、別紙のとおり、長野県の骨格をなす各種事業の整備促進を要望いたしますので、格段のご理解と御高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成 24 年(2012 年)9 月 24 日

長野県知事 阿部 守一

(別紙)

要 望 事 項

【道路関係】

①一般国道153号の指定区間編入と整備

・中央自動車道等と一体的、代替的に機能する道路で、国家的見地からも重要な路線です。リニア中央新幹線中間駅へのアクセスの観点を含め、国道153号の指定区間編入及び整備を要望します。

②高規格幹線道路の整備促進

● 上信越自動車道

・信濃町IC～上越JCT間の4車線化が早期に供用開始できるよう、整備促進を要望します。

● 中部縦貫自動車道

・松本波田道路の早期工事着手を要望します。

● 中部横断自動車道

・長坂～八千穂間の整備計画への早期格上げを要望します。

● 三遠南信自動車道

・飯喬道路、青崩峠道路の事業促進を要望します。

③一般国道の整備促進

● 国道158号 奈川渡改良の整備促進

・本路線は、長野県の代表的な観光地である上高地へ通じる道路であるので早期に整備をお願いします。

● 国道18号、19号、20号の整備促進

・県土の骨格を成すこれらの道路整備について、格段のご配慮をお願いします。

【河川・砂防関係】

①直轄管理河川の整備促進

● 千曲川の改修整備促進

・県民の長年の希望であった、千曲川無堤地区及び立ヶ花・戸狩狭窄区間解消のための整備促進を要望します。

● 天竜川の改修整備促進（釜口水門の最大放流量増）

・平成18年7月豪雨災害対応に引き続き、将来の諏訪湖釜口水門600m³/s放流に向けた天竜川の整備促進を要望します。

②主要な河川の一元管理

● 千曲川、天竜川などの中抜け区間の直轄編入

・河川管理、災害対応等を適時適切に行うため、県管理区間の直轄管理区間への編入をお願いします。

③ソフト対策の充実

● XRAINの長野県内への早期配備

・近年のゲリラ豪雨等に対応し、迅速な避難行動を促すため、詳細かつリアルタイムで降雨観測が可能なXRAIN（XバンドMPレーダ）の県内への早期配備を要望します。

④大規模土砂災害対策の推進

● 浅間山直轄火山砂防事業の整備促進

・浅間山直轄火山砂防事業が早期に工事着手されるよう、整備促進を要望します。

● 大規模崩壊監視システムの整備

・深層崩壊の対応として期待される大規模崩壊監視システムが早期に稼働されるよう、整備を要望します。

【都市計画関係】

○国営アルプスあづみの公園の整備促進

・県内外のレクリエーション需要への対応、県内観光拠点として、一層の整備促進を要望します。

【地域公共交通関係】

○地域公共交通の維持確保への支援

・地域公共交通確保維持改善事業について、必要な予算額の確保をするともに、従来からの取組を対象とするなど、地域の実態を踏まえた制度の拡充を行い、安定的な制度となるよう要望します。

【鉄道関係】

①並行在来線

・長野以北並行在来線区間に対する国の新たな支援策の具体化と鉄道資産取得等の初期投資等に対する財政支援措置を要望します。

②リニア中央新幹線の整備促進

・平成 39 年の東京から名古屋間の開業を確実なものとするとともに、リニア中央新幹線駅の周辺整備、アクセス道路の建設等に関する地域の財政負担への支援を要望します。

【航空関係】

○松本空港の滑走路改良等への支援

・平成 22 年度から実施している滑走路の舗装改良等が早期に完了し、航空機運航の安全確保が図られるよう支援を要望します。

【観光振興関係】

○国際競争力向上のための観光振興施策の充実

● 長期的な視点に立った観光地域づくりへの支援

・国内外の旅行者から旅行先として選ばれ続けるためには、地域の魅力を引き上げることが必要であり、長期的な視点に立った観光地域づくりや、そのための中核人材育成に支援されるよう要望します。

● 「共通基準による観光入込客統計」への財政支援措置

・「観光庁が定めた共通基準」に基づき都道府県が実施する観光入込客統計が、安定して成果を出せるよう国からの財政支援を要望します。